



創作と対話のプログラム

アートセンターをひらく 第1期



つくる、

ぼ

しゅう

か
書く、

へんしん
変身する?!

募集!

「アートセンターをひらく 第1期」では、

水戸芸術館現代美術ギャラリーを「創作と対話の場」として活用し、

つくる、話す、想像する、からだを動かすなどさまざまなプログラムを行います。

子どもからシニアまで、障害のある人もない人も、美術が好きな人もそうでない人も、

ぜひご参加ください。

※募集プログラムについては裏面をご覧ください。

【お申込み】

受付開始: 12月20日(木)

※お申し込みから3日経っても返信がない場合は、029-227-8120までお電話ください。
なお、年末年始休館のため、12月26日-1月3日に到着したメールへの返信は1月4日以降となります。

件名を「アーセン応募」として、下記を本文に記入のうえ、atmcac@arttowermito.or.jp までお送りください。

①応募企画名、②氏名、③電話番号、④在住市町村名、⑤年代(30代など)

椅子ワークショップへの応募⇒⑥椅子の数、⑦椅子の写真を添付(可能な場合)

カフェ・スタッフ⇒⑥説明会の出欠を追記ください。

※受け付けは先着順となります。メールでのお申し込みが難しい場合は、029-227-8120までお電話ください。

「アートセンターをひらく 第1期」

2019年3月2日[土]-5月6日[月・祝] 10:00-18:00

水戸芸術館現代美術ギャラリー

【休館日】月曜日 ※ただし、4/29は開館

【入場料】無料 ※一部プログラムを除く

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団

【後援】在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、ブリティッシュ・カウンシル

【助成】アンスティチュ・フランセ パリ本部、グレイトブリテン・ササカワ財団、

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

【協力】アサヒグループホールディングス株式会社

お問合せ: 水戸芸術館現代美術センター

310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 Tel.029-227-8120

<https://www.arttowermito.or.jp/>

交通のご案内

【バス】「泉町一丁目」下車、徒歩2分

【駐車場】水戸芸術館地下に市営五軒町駐車場あり。駐車場入口は芸術館北側東端。

料金: 30分まで無料、1時間まで200円、以後30分毎100円。

営業時間: 7-23時



A. 「変身」ワークショップ

砂連尾理(じゃれおおさむ)は近年、障害のある人や高齢者、妊婦などダンス経験のない人たちと身体を使ったワークショップを各地で行っています。「変身」をテーマに、怪我や老い、障害、性などについて幅広く語り合い、その対話を身体表現へと転換していく長期ワークショップを行います。経験不問、お子さま連れ、身体の不自由な方も参加いただけます。まずは説明会へどうぞ!

期間:3月-2020年1月

講師:砂連尾理(ダンサー、振付家)

対象:継続的に参加でき(単発のお休み可)、公開練習や成果発表への参加に同意いただける方

定員:20名程度

参加費:無料 ※出演料等の報酬はありません



【説明会】先着順、予約不要

砂連尾理がワークショップについて説明します。

日時:1月26日(土)

14:00-15:30(開場13:30)

会場:水戸芸術館会議場

対象:どなたでも

定員:70名

※参加できない場合は個別に対応しますのでご連絡ください

砂連尾理 撮影:三浦博之

B. 「よみがえる椅子、つどう椅子」ワークショップ

家に古い椅子はありませんか? 椅子の座面や背もたれを張り替えたり、ペンキを塗りかえてリペアするワークショップを行います。完成した椅子はみなさんの椅子の物語を添えて、3月から5月まで当館ギャラリー内特設カフェで使用させていただきます。

日時:1月13日(日)、14日(月・祝)いずれも10:30-15:00(開場10:00)

講師:Ph.D.(フッド)[荒井健二、荒井奈月]

対象:中学生以上 定員:各日10名(先着順)

参加費:2000円+布代として椅子1脚につき0円~6000円



Ph.D.により、リペアされた椅子

C. 書く。部@図案室 アートをことばで伝えるプロジェクト

「アートセンターをひらく」の現場で起こるさまざまな出来事やイベントを発信する瓦版(仮)の制作プロジェクトです。アートに関わる仕事に興味がある人、絵や文章をかくことが好きな人、本やZINEを作りたい人など大歓迎! あなたがとらえた「創作と対話」のプロセスを形にして伝えてみませんか?

日時:1月13日(日)、27日(日)いずれも13:00-16:00

2-3月各月2回開催予定

顧問:市川寛也(東北芸術工科大学講師)、石井一十三、後藤桜子(ともに水戸芸術館現代美術センター)

対象:高校生以上 定員:10名



「書く。部」活動風景 2018 撮影:川村麻純

D. カフェ・スタッフ

カフェや工房で来場者を迎えたり、ワークショップの活動を補助したりするボランティア・スタッフを募集します。新たな出来事や人との出会いがたくさん待っています。

期間:3月2日(土)-5月6日(月・祝) ※学生は平日の放課後と休日に活動します

対象:高校生以上 ※期間中5日以上活動できる方

定員:20名

【説明会】

日時:2月24日(日)14:00-16:00

※参加できない場合はお申し込みの際にメールでご連絡ください



「高校生ウィーク 2017」カフェ風景 2017 撮影:佐藤理絵

上記の活動はすべて水戸芸術館にて行います。別途記載のない場合、参加費は無料です。お子さま連れやケアが必要な方は事前にご相談ください。ほかにも参加できるプログラムがいっぱい! 詳細はチラシおよび当館ホームページにて順次発表します。